

令和7年度一般会計決算

- Q 経常収支比率が91.1%と財政に弾力性がなくなり、かなり厳しい状況だと感じるが、この結果をどう考えているか。
- A 要因は、町税収入の大幅な減少と義務的経費の増加であり、町としても問題意識を持っている。
- Q 監査委員が指摘する事業の必要性・優先度・効果の厳格な検証について、基本的な方針を明確にしてほしい。
- A 令和9年度の予算編成にあたって、各部局に改善を検討するよう明記する。特に団体への補助金制度の運用については、経費の妥当性や事業内容、受益者負担や事業効果など検証を行い適正化に向けて取り組んでいく。

プラスチック資源回収の開始

- Q 令和7年度からプラスチック資源回収を開始したが、評価は。可燃ごみなどの一人1日当たりの排出量は。
- A 順調に事業を進めることができた。課題として、分別区分が十分に周知しきれておらず、可燃ごみ、不燃ごみが混入して排出されていたため、きめ細やかな周知啓発に努める。家庭ごみの排出量は約502グラムと、目標値540グラムを下回った。



口腔機能検査の開始

- Q 令和7年度より75歳以上の対象者に口腔機能検査を開始したが、どのように評価しているか。
- A 検査した結果、受診者全員が口腔機能低下という結果であったため、歯科衛生士から直接口腔体操など保健指導を実施した。今後は、多くの方に検査を受けていただき、口腔機能の維持・向上を目指す。

志水小学校のトイレ改修

- Q 志水小学校のトイレ改修工事は、どのように評価しているか。
- A 児童からは、明るくきれいになり、気持ちよく使えるようになった。保護者からは、子どもが安心して利用できるようになった。教職員からは、子ども自身がトイレをきれいに使おうとする意識を持つようになった。との評価であった。